



上川管内公立小中学校事務職員協議会
 発行者 広報担当者 島尻（鷹栖小）
 第1号 2019.4.22

ご挨拶

「35年の歳月を経て…」

上川管内公立小中学校事務職員協議会 会長 藤崎 利男



1985年、バックトゥザフューチャー全国上映，スーパーマリオ誕生，御巣鷹山に日航123便墜落，阪神タイガース球団史上初の日本一，そして学校事務職員の義務教育費国庫負担適用除外攻撃元年，新採用の私は北の都・名寄の地にいました。鉄筆にガリ版(って分からないよね?)謄写版，FAX 原稿用紙に輪転機，電動タイプからワープロとここが転機かと思いきや，2000年問題でパソコンへ大転身。事務機器は格段に進化しましたが，なぜか時間軸が早まったのか職場の多忙観は計り知れません。学校事務の可視化が求められていますが，全道的に考えると35年の歳月を経てしても学校という器を越えた連携とはなっていない状況です。だからこそ今，能動的に「学校間連携」を推進しましょう。

これからの「上川の学校事務」を創造していくのは，あなたたち一人ひとりです。

2019年度 上事協 役員

- 会長 藤崎 利男（富良野市立樹海小学校）再任
- 副会長 盛多 隆（剣淵町立剣淵中学校）再任
- 事務局長 前畑 孝明（名寄市立名寄東小学校）新任
- 事務局次長 柳原 拓也（富良野市立東小学校）再任
- 事務局次長 島尻日露野（鷹栖町立鷹栖小学校）新任
- 理事 小林 篤史（上富良野町立東中小学校）再任
- 理事 長谷川 薫（東神楽町立忠栄小学校）新任
- 理事 丸田 慎一（士別市立士別中学校）新任
- 理事 塚本 太郎（富良野市立鳥沼小学校）新任
- 監査 椎名 勉（鷹栖町立北野小学校）再任
- 監査 椎名 俊文（上富良野町立上富良野西小学校）新任

第131回上川管内公立小中学校事務研究大会（中央大会）が開催されます。

期日 2019年6月27日（木）～28日（金）
 場所 当麻町「まとまーる」他

詳しい日程及び内容については，後日各ブロックを通じてご案内いたします。今年も**全体写真撮影**（2日目を予定）を企画しています。たくさんの会員のみなさんの参加を心よりお待ちしております。



退任のごあいさつ

2018年度で退任された役員のみなさんからの
あいさつが届いておりますので、ご紹介いたします。



前事務局長：高橋 秀人さん（東川町立東川第三小学校）

理事を2年、事務局次長を2ヵ月、事務局長を2年10ヵ月務めさせて頂きました。理事の2年間は研修の内容を把握する事に必死でしたが、結局何もわからず、周りの優秀な理事さんに教えられるがまま、ただただ酒の席を楽しみにしながら過ごしていました。2年目の理事を終えようとしていた3年前、私の働きぶりにおそらくもう嫌気がさしたであろう藤崎会長から事務局次長への転任を命ぜられました。もともと研究とか研修とかが苦手だった私にとって、それ自体はうれしいお知らせでした。「まあ将来的には事務局長も見据えて」とのお話しに「いやいやそこまではハイハイ」と笑ってごまかしながら引き受けた気楽であったはずの次長の座は実質1ヵ月で幕を閉じ、気がつけば即席の事務局長になっていました。まあ天罰なのでしょう。前任の吉岡さんからは丁寧で完璧な引継ぎを受けたにもかかわらず、電話等による各方面との連絡調整が主となる事務局長の仕事になかなか馴染むことができず、会長をはじめ多くの皆様にご迷惑をお掛け致しました。本当に申し訳ありませんでした(_)。こんな私を広い心で見守って下さり、ご指導・ご助言を頂きました大槌会長・藤崎会長をはじめとする歴代役員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。そして総会の際にも言いたいことはたくさんあったのですが、温かく質疑をスルーして下さった多くの会員の皆様にもあらためて感謝申し上げます。私はこれからも一会員として上事協にお世話になります。事務職員を取り巻く状況は風雲急を告げておりますが、上事協がこれまでに培った研究と親睦による絆により、きっと乗り越えられると確信しています。

詳しいことは研修部に聞いてください。今振り返ってみると、とても刺激的で有意義な5年間であったと感じます。そして楽しい楽しい5年間でした。

本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い致します。



前理事：原田 和茂さん（幌加内町立幌加内中学校）

3年間、理事を努めさせて頂きました。会員の皆様には、多大なご協力をいただき、感謝申し上げます。

当初は、ほとんど、研修の内容も理解していなかったもので、過去の研究集録を見まくったものでした。文章の作成も苦手で、何度も他の理事に手直ししてもらい、管内研の提起も噛み噛みで無駄に長い発表になっていました（今もそんなに変わらないですが）。そんな私からの個人レポートやアドバイザーの依頼（不幸の電話）に「いいよ～」 「いないんでしょう～ やるよ～」と引き受けていただき、本当にありがたかったです。このご恩は、理事からの依頼電話が来たら二つ返事（NOではないですよ）で答えることで返したいと思っています。個人レポートも「A4 1枚で良いよ～」と言ったにもかかわらず、資料付のレポートや完成度がかなり高いレポートばかりで、想像を遙かに超えていました。

本当は、会員の皆様に提起する立場でありながら、私が勉強になったことの方が多かったように思います。

退任にあたって、私のような経験をした「一会員」が多いほど、研究は深まっていくと思います。確かに多くの責任を持たなければならないし、管内研前はドキドキしていましたが、学ぶ（気づかされる）機会は確実に増え、管内研当日は多くの意見が聞けて楽しい時間を過ごすことができました。私のような「一会員」が増えてくれば、様々な依頼も受けてくれると思います。

ちょっと違う世界を見たいと思うあなた！ 理事やってみませんか？



前理事：葛西 賢人さん（土別市立土別南中学校）

2017年より、2年間、研修理事を務めさせていただきました、土別南中学校の葛西です。

加入1年目、初任校の旭川市から土別市に異動し、はじめは、学校事務職員として、知識や経験も不足しており、いま思えば、上事協のとりくみについても、あまり積極的な姿勢ではなかったように思えます。そんな私に、現会長から、「あなたの力が必要です。」と、ありがたいお言葉をいただいたことで、「ぜひ、私にやらせてほしい。」と、胸が熱くなる気持ちになったことが、最近のここのように思えます。

総会後の3月、とても緊張しながら、第1回目の理事会に参加しましたが、予想に反し、理事会も研修部会も、とても和やかな雰囲気で行われていました。夜には、懇親会なども頻繁に行われ、理事会会員の趣味や家族のことなどについても、交流を深めることができました。

研修理事を任せていただき、学校事務職員という職業について学び、「教育環境整備」のとりくみ実践をフィードバックすることで、一番成長させていただくことができたのは、私自身なのではないのかと思います。そして、みなさまの支えがあって、なんとか任期満了することができたのかなと思います。微力ではありますが、研修理事として、少しでも会員の力になれたのであれば幸いです。今後も、上事協の一会員として、「会員一人ひとりが研究の主体となって」のテーマのもと、努めていきたいと思いません。管内研の個人レポート発表など、受け手が不足している場合には、私でよければ、いつでも声をかけてください。本当にありがとうございました。



前監査：我妻 誠さん（比布町立比布中学校）

2014年度からお世話になり、その5年間で事務局次長（4年）監査1年とお世話になりました。

改めて振り返ってみますと、数限りないやさしさを思い浮かべ穴を掘って埋まっていたくなるほどの想いです。態度の良い役員とは、間違いなく当てはまらないこんな自分を5年間もみなさんお付き合いいただき、恐縮至極に思っております。

辛抱強く任用いただきました藤崎会長をはじめ、高橋前事務局長やたくさんの皆様にご指導を受け、中身の濃い生活を送ることが出来ました。

ぜひベテランの方も若い方も中堅のみなさんも、機会があれば役員を引き受けられることをオススメいたします。ともすれば籠の中に閉じこもりがちなる仕事ですが、こうしてやるとやらないとでは、いろいろな見方を身につけることができ、ひいては自分に幅を持たせることができると思います。

役をすることによって良い想いをするとかそう言うことは全くありません。ただひたすら経験と知見の材料が拡がっていくだけです。それをどうするかは本人次第になると思いますが、とりあえずは、お話しが振られたらお引き受けし進んでいくべきだと思います。

みなさん、ありがとうございました。

このような私を5年間も任用いただき、上事協の皆様には感謝しかございません。

これからは目立たぬよう、人目につかぬようひっそりと進んでいきたいです（笑）

これからも上事協の益々の御発展をご祈念し微力ながらお手伝いさせていただきます。



旧役員のみなさま、役員としてご尽力いただきまして、ありがとうございました。

今後も上事協へのお力添えをよろしく願いいたします♪

就任のごあいさつ

事務局長：前畑 孝明さん（名寄市立名寄東小学校）

この度、上事協の事務局長に就任しました名寄東小学校の前畑孝明です。事務局次長1年の経験しかありませんが、皆様のお役に立てるようがんばりたいと思います。

今年は、上川が担当となり第69回全道事務研究大会が札幌で開催されます。実行委員会を組織し、精力的に準備をしていただいております。上事協事務局としては、全面的にバックアップしてまいりたいと思います。会員の皆様には、9月19日（木）～20日（金）は、ぜひ、札幌まで足を運んでいただき、全道事務研究大会に参加していただき、大会を大いに盛り上げていただきたいと思います。週末は、ラグビーワールドカップが開催されます。研究大会とスポーツ観戦を兼ねて札幌にでかけるのもいいのではないのでしょうか。

上事協の基本目標は、研究と親睦です。その目標を達成するために、これからがんばっていきこうと思います。よろしくをお願いします。



理事：長谷川 薫 さん（東神楽町立忠栄小学校）

このたび理事に就任いたしました東神楽忠栄小の長谷川薫です。とてつもなく微力ですが、お役に立てるようがんばっていききたいと思っていますのでよろしくお願いします。

私が採用になったのは後志の神恵内村で、当時村内4校のうち2校に事務職員が配置になっていました。前任者から2週間空白期間があつての採用でしたので引継もできませんでしたが、幸い隣接していた中学校に有能な先輩がいらっしまったので、何かあると書類を携えて隣の学校にお邪魔していました。ところが翌年、頼みの綱の先輩が吸い上げになり、右も左もよくわからない私が村内に1人の事務職員になってしまいました。その時には隣村の事務職員の方がそれまで以上に色々気に掛けてくださり大変ありがたかったです。その後、名寄市に異動することになり、名寄の事務職員の皆さんに温かく支えていただき、仲間のありがたさを感じながら仕事をしました。ちょうど赴任した智恵文中学校も数年事務職員がおらず再配置でしたので、経験の浅い私にはどれだけ心強かったかしれません。事務職員は学校にほぼ1人なので、職場で解決できないことも色々あると思います。そんな時、上事協のつながりが支えになったらいいなと思っています。

今まで役員をして上事協を支えて下さった皆さんに感謝をこめて。

理事：丸田 慎一 さん（士別市立士別中学校）

この度、理事となりました丸田です。今年度「理事の仕事って大変そうだなあ。これは自分にはできないなあ。」なんて思いながら1年間を過ごしてきましたが、まさか上事協1年目（H31.3.6現在）の私が就任することになるとは想像もしていませんでした。できるだけ頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

上川管内に異動してきてまだ1年目で、皆さんからのあまり認知されていないかと思っていますので、簡単に自己紹介をさせていただきたいと思います。

氏名：丸田慎一（まるたしんいち）、年齢：35歳、趣味：ビール・野球、出身：美瑛町、

事務職員歴：12年目

初任校：豊富町立豊富小学校（5年）〔豊富町はセイコマートの牛乳のところ〕

2校目：枝幸町立枝幸中学校（6年）〔枝幸町はカニで有名なところ〕

現在：士別市立士別中学校（1年）

今後1年間の目標：ダイエット（10kg目標！！）



めまぐるしく事務職員を取り巻く情勢は変わっていく中、これから勉強の日々が続きますが、理事となったことで「事務職員」を捉えなおす良い機会になるとプラスに考え、もう若くはありませんが、フレッシュさを前面に出し、取り組みを進めていきたいと思えます。

また、これまでの上事協の実践を今後上事協に加入する事務職員の方々へ「つなぐ」ことも大事なのかなと個人的には考えておりますので、微力ながら尽力できればと思えます。

何かとご協力をお願いする部分が多々あると思えますが、改めてよろしくお願い致します。



理事：塚本 太郎 さん（富良野市立烏沼小学校）

3月1日の総会で理事に就任しました。つい2年前、学校事務職員に採用されたばかりだと思っていたのですが、まさか上事協の役員になるとは…。私のような未熟者が理事を仰せつかり、大変恐縮しております。まだまだ知識も経験も浅いので、もっと勉強していかなければならないと思っていますところですが、今回せっかくの貴重な機会をいただきましたので、まずはより多くの人と関わり、つながりをたくさん広げたいと思っています。色んな人の意見や考え方を聞くことは、自分の仕事の裾を広げるためには大切なことだと思っています。

次に、自分の考えをしっかりと固めていくことも必要と思えます。今まで研修会に参加してきて、発言を求められる場面も多かったのですが、今まで以上に学校事務職員の仕事、これから上事協がすすめる教育環境整備について深く考え、皆さんと議論することができるように、一緒にお仕事をする役員の方々にご指導いただきながら自己研鑽につとめたいと思えます。

「会員一人ひとりが研究の主体となって」という言葉にもあるように、上事協に所属する会員みなさんにとって実りの多い1年間になることができれば幸いです。これから至らないことがあったりご迷惑をおかけしたりすることもあるかもしれませんが、一生懸命務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。



監査：椎名 俊文 さん（上富良野町立上富良野西小学校）

この度、上川管内公立小中学校事務職員協議会（以後 上事協）の監査に選任されました上富良野西小学校の椎名俊文です。監査という重役に付くこととなり身の引き締まる思いです。

思い起こすと二十数年前、私は中川町立中川中学校に事務職員として新採用で赴任しました。そこから上事協にお世話になったのですが、新採用で事務職員となった時の私の感じたことを書きたいと思えます。

学校に一人の事務職員。他の教職員に仕事を聞いても誰もよく分からない。私の感覚では、普通であれば上川教育局なのか中川町の教育委員会なのか何処になるのか分からないのですが、仕事の内容について研修の機会があっても当然なのにどうして研修の機会がないのだろうと感じていました。その様な中、5月に入って上事協主催の新採用者研修会が開催されました。その研修会でいろいろ不安だったことが解消されたことを今でも昨日のこのように思い出します。新採用研修会だけでなく、上事協のブロック研や町教研で諸先輩方から、いろんなことを勉強させていただきました。そんな中で感じたことが、事務職員の職務が上事協によって確立されているのだということです。他の公務員であれば職務というのは任命権者や服務監督者が職務を決定し、職員はそれに従い仕事を行うというのがオーソドックスだと思うのですが、事務職員は、自ら職務を確立し仕事をしていることに驚きを感じていました。後に分かるのですが、事務職員の職務確立は諸先輩方や現会員のとりくみの賜物であるということ。

私も大変微力ではありますが、上事協が益々活発になるよう尽力していきたいと思えますのでよろしくお願い致します。

事務局次長：島尻 日落野（鷹栖町立鷹栖小学校）

今年度、事務局次長になりました島尻です。

とにかく人前に出ることが苦手で、事務局次長とは恐れ多いのですが、周りのみなさんに助けていただきながら、精一杯頑張ります。

3年前、初めての異動で不安でいっぱいだったときに、町の連携会議や、ブロック研修、管内研で皆さんと交流する機会があり、とても助けられました。これからも、たくさんの方々に引き続きお世話になりますが、私自身も新採用の方や、異動してきた方が安心して仕事に取り組めるように、少しでも力になればと思います。至らない点ばかりでご迷惑おかけしますが、どうぞお手柔らかによろしくお願いいたします。



第130回上川管内公立小中学校事務研究大会（旭川大会）が開催されました。

2月28日～3月1日、上川教育研修センターにて、多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。また、1日目終了後に行われた恒例の懇親会にも多くの参加者があり、親睦の輪を深めました。

各分散会の参加者より感想をいただきましたので、ご紹介いたします。



名寄市立中名寄小学校 神元 美奈

私は、第130回管内研にて、3名の方のレポートを聞き、そして読ませてもらいましたが、印象に残っているレポートがあります。特に印象的だった部分を抜き出しますと、『「もの」を扱うのは「ひと」であり、この「ひと」を抜きに「もの」を整備を語ることはできない。「もの」を整備するために「かね」を整備へも波及することはない、すなわち「もの・かね」の意義は「ひと」が使いたい！という情熱が全ての出発になる』という部分です。

比布町立比布中学校 我妻さんのレポートを聞き、読んだことにより、どれだけ「ひと」の存在が重要であることに気付かされました。「ひと」は、常に切っても切り離せない、常に中心にあるという、無くてはならない存在であるようです。

我妻さんのレポートの内容の中心と、ずれるような意見となるかもしれませんが、私が勤める学校には、購入してから一度も使っていない備品が複数存在します。袋から出してもいない様子です。理科に関わる備品に多いのです。私はといえば、理科に興味があるわけでもなく、理科が好きだったわけでもありません。そして何よりも、指導する立場でもありませんが、少しでも子ども達に勉強を理解させるために、どんどんあらゆる教材備品を使用してほしいと思います。「ひと」が使いたい！という情熱をもってもらうにも、私からの働き掛けが必要になるのでしょうか。

とにかく、これからの私の目標としましては、「ひと」の存在を大事にしていきながら、子ども達にとって良い、教育環境整備を行えればと思います。



南富良野町立南富良野中学校 佐々木 香苗

第2分散会は15名で交流を行いました。はじめに、研修③の全道事務研での中央ブロックのレポートに対する意見交流を優先して行いました。レポートについては素晴らしく良かったという意見が半数を占めていました。懸念されていたことは、下記3点です。

- (1) 加配事務職員配置なしに共同学校事務室を設置となると、結局事務職員の職務が増えてしまい過度な負担がかかること。
- (2) 連携会議などの積み重ねがない市町村へ設置された場合、教員の負担軽減に特化した共同学校事務室ができませんこと。
- (3) 職務の多様化やトップダウンによりすんなり設置されてしまうのではないかと。

昼食をはさみ午後からは検討課題・ブロックの研修報告・市町村学校間連携推進報告について意見交流を行いました。検討課題では下記の3点について意見交流を行いました。

- (1) 保護者向け事務だよりを発行している学校の事務だよりの内容について（配当予算や備品の紹介、就学援助制度についてなど）
- (2) もっと幅広く管内の実践を集めてまとめた方がよい。
- (3) 上事協 Web のデータを精査・更新してほしい。

またブロック研修報告の中から中央ブロックで行われた校種別交流会に着目し、小・中学校それぞれの校種で抱える悩みなどを共有できる取り組みについての交流や、市町村学校間連携会議推進報告では備品台帳のデータベース化や出勤簿押印廃止についてなどが話し合われました。



最後に時間の都合上、市町村学校間連携推進報告が、駆け足になってしまったことが残念でしたが、その分東神楽町の共同学校事務室についてのレポートを深く掘り下げて交流できました。普段交流することが少ない他ブロックの方々とは交流でき、自分にとって良い研修となりました。

中富良野町立西中小学校 宮崎 高大

昨年の猛吹雪とは違って変わり天候に恵まれた今回の管内研、私は第三分科会に参加しました。はじめに全道研レポートのプレ発表についての交流がなされ、「つかさどる改正によって包括的業務委任される立場になったはずなのに職務標準表では個別具体的に業務が指定される。これは改正の趣旨と矛盾している」という指摘は明快で腑に落ちたと多くの方が話されていました。

午後からの市町村交流では、まず出勤簿・外勤簿の簡素化やタイムカード等による勤怠管理の実態について交流がなされました。多くの市町村で出勤簿・外勤簿の簡素化は進んでいるようです。難色を示された市町村もありましたが、周辺市町村の簡素化に向けた動きを行政と情報共有していきたいと話されていました。また、勤怠管理についてはPCのON/OFFや指紋認証など市町村によって方法が異なりますが試験的に導入されているようです。これについても連携会議の場で協議しながら一方的な導入とならないよう進めていければという交流がなされました。

全道研の共同学校事務室のプレ発表の影響もあり、あらためて「なぜ連携するのか」「連携するからこそできることは何か」といった視点から意見交流がなされていました。共通予算要望や公費化に向けた働き、旅費の弾力的な運用などが連携するからこそできることの実例として挙げられました。予算要望については、共通要望で物品を

統一できる場合コストも下げられることもあるという意見がありました。また、予算要望で説得しなければならないのは委員会ではなく財政課で、委員会は学校の意見を代表して財政課と交渉する立場であることから、学校と委員会とが共通理解に立ちながら進めていくことが重要だという委員会との連携の必要性があらためて確認されました。それに関わり情報発信する際は学校と委員会とが協働しながら学校環境整備を進めているということを伝えていくことが連携会議の周知にもつながるということも指摘されていました。

公費化については、スポーツ振興センターの経費の公費化が管内共通の課題になり得るのではないかという意見が出され、また公費化は保護者負担軽減だけでなく学校の業務の軽減にもつながっているという交流がなされました。



士別市立温根別小学校 林龍之介

今回、第4分散会に参加させていただきました。上川のベテラン先輩職員をはじめ、旭川や北見の先輩方もいらっしゃるって、勉強になることだらけの分散会でした。第4分散会は東神楽中坂田さんのレポート発表の感想や事務室に対する意見から始まり、連携会議やCSなどここ近年話題になっていることについて、様々な市町村の状況や成功例・失敗例を含めながら議論しました。私自身、これらの事柄について理解が追い付いておらず、完全に側になってしまいましたが、議論を通してかなり理解が進んだのを実感しています。ただ、理解が進んだことによって士別市にとって、自分にとって、どうしていくのが、どうなっていくのが正解なのか分からなくなってしまいました。連携会議すら発足されていない士別市で、いきなり「事務室を設置します」と言われたら、ちゃんと機能していけるのかな・・・といった疑問を感じます。今年度1年間、士別市教研事務班の班長をやってきて、市教委との連携や法的な拘束力・発言力が不足しているのを感じる場面もありました。もし連携会議や事務室があれば、もっと実のある1年間になったのかなと思っています。今後連携会議を発足するにしろ、事務室が設置されるにしろ、市内でしっかりと話し合っ、意識を共有し、つながりを強化していくことが必要なのだと感じました。

分散会内で各市町村の状況を聞かせていただき、いろいろな構想や市内で話し合わないといけない課題が浮かんできました。今後士別市としても、自分としても、より前進していけそうだと思います。

事務局の皆様、並びに参加者の皆様、とても勉強になる2日間でした！
大変ありがとうございました！



New 上事協 Web にログインしてみましたか？



今年度から上事協 Web が「サイボウズ Office」に切り替わっています。

web 担当は、盛多副会長と柳原事務局次長が務めます。ログイン方法がわからないなどお困りでしたら、お気軽にご連絡ください。登録するメールアドレスは、個人アドレスをお使いください（フリーメールでも可）。

学校で個人に与えられているアドレスもお使いいただけますが、異動の際は再登録が必要となります。

連絡するメールアドレスはこちらへ！ kamijikyoweb@yahoo.co.jp

「お疲れさまでした」そして「ありがとうございました」



私たちの代表として全道の役員を務めてくれていた橋本正明さん。不慮の事故から2年が経過し、この3月でご勇退されることとなりました。3月27日これまで私たちに掛けてくれた力強い言葉と行動力に対し感謝状を贈呈させていただきました。誠にありがとうございました。(藤崎)